



学校だより

11月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawada/>

横浜市立六つ川台小学校

平成26年10月31日

豊かな心を育てる

学校長 柳澤 潤

街路樹のポプラの葉が、日ごとに少なくなってきました。木枯らしが吹くと、全てが吹き飛んでしまいそうです。一日の気温の変化が大きくなるので、これからの季節は体調管理に気をつけたいものです。学校では、手洗い、うがいの励行に努めていきます。

本校周辺は、自然環境に恵まれています。先日の10月25日、児童遊園地（横浜市こども植物園に隣接している大きな公園です）に全校遠足で、出かけました。歩いて10分ほどで、緑の豊かな公園に着きます。1年生から6年生までの縦割りのグループで班を作り、午前中はオリエンテーリング、午後は班ごとの遊びで一日を過ごしました。今年度から、お弁当にお菓子もありで、一日丸々楽しむ計画にしました。

6年生リーダーの優しい関わりには、感心しました。低学年にとっては、安心してわがままを言ったり、甘えたりもできる「優しいお兄さん、お姉さん」だったようです。一日中、低学年と一緒に行動した6年生は、「とっても疲れました」とうれしそうに言っていたのが印象的でした。低学年の活動ふりかえりカードには、「ぼくが6年生になったら、Aさんみたいなチームをひっぱりやさしい人になりたいと思います」と、6年生のことを書いている子どもがたくさんいました。縦割り学年のかかわりの中で、お互いのよさに気づき、「思いやり広げる台小の子」として、伸び伸びと育ててほしいと願っています。また、このような機会を「あこがれの6年生」を育てる場面として、大切に考えています。

さて、読書週間が始まりました。「読書週間」は、全国的な取り組みです。今年の標語は「めくる めぐる 本の世界」だそうです。今年度は、重点研究に国語を取り上げていることもあり、授業の工夫改善とともに、読書環境の充実も進めています。10月の授業研究会では、5年生は、教科書教材の「大造じいさんとガン」（作者：椋嶋十）を学習のきっかけにして、椋嶋十の作品9作品を次々に読んで、魅力的な表現を見付ける学習をしました。2年生は、教科書教材の「お手紙」（作者：アーノルド ローベル）を手がかりにして、がまくんかえるくんシリーズのお話を読み広げました。教科書だけでなく、関連した本を同時に読み進めることを並行読書と読んでいます。学校では、子どもたちがたくさん本に触れることができるように、南図書館からまとまった冊数の本を借りたり、本校の学校司書に関連図書を選本してもらったりしています。読み聞かせの活動も、ボランティア「本の実」の皆さんによって、充実した取り組みが継続中です。

ともすると、身の回りに整った恵まれた環境は、当たり前のこととして受け止めてしまいがちです。ノーベル平和賞を受賞した17歳のマララさんは、国連本部で行ったスピーチを次のように結んでいます。「親愛なる兄弟姉妹の皆さん、忘れてはなりません。何百万人もの人が貧困、不正、無知に苦しんでいます。何百万人も子どもたちが学校に通えずにいます。わたしたちの兄弟姉妹が、明るく平和な未来を待ち望んでいます。そのために、世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう。それこそが、わたしたちのもっとも強力な武器なのです。ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、そして一本のペンが世界を変えるのです。教育こそ、唯一の解決策です。まず、教育を。」と。学校に通いたくても通えない、本が読みたくても一冊も本がない、勉強したくてもペンが一本もない……。世界には、このような環境で過ごす子どもたちがたくさんいることに改めて心を痛めます。

本をめくり、想像をめぐらし、世界にも目を開いてほしいものです。私は、子どもたちに「今、どんな本を読んでいますか」と聞くようにしています。一冊の本が豊かな心を育てます。読書郵便や、交流の読み聞かせなど、工夫した活動にも取り組んでいきます。地域・保護者の皆様、今月もよろしくお願ひします。